

令和5年度東京工業大学物質・情報卓越教育院  
「国際フォーラム・未来社会サービス創出ワークショップ」にかかる企画運営 一式  
仕様書

## 1. 概要・目的

本教育院の実施する「東京工業大学卓越大学院プログラム事業（「物質×情報=複素人材」育成を通じた持続可能社会の創造）」（文部科学省補助事業）について、本教育院の登録学生が、海外の教員等とのグループワーク等によって国際リーダーシップ力や、自身の研究を社会サービスに繋げて考え、社会に役立つ新しい産業を提案する俯瞰力涵養することができるよう、物質情報国際フォーラムおよび未来社会サービス創出ワークショップを開催する。本イベントは、企業関係者や海外関係者を招聘し、4泊5日の合宿形式により実施する。

### （1）物質・情報教育国際フォーラム

物質・情報卓越教育院の海外機関プログラム担当者とその指導する博士課程学生、及び世界各地から著名な研究者も招聘し、英語での研究発表を行う。研究発表内容は本学と企業のプログラム担当者により評価を行い、優れた発表には賞を授与する。自身とは異なる分野を学ぶ海外学生との切磋琢磨により、研究力、国際コミュニケーション力の両面の向上を図る。

### （2）未来社会サービス創出ワークショップ

博士後期課程に進学した登録学生が参加し、専門とする研究を未来社会におけるサービスまで繋げた新しい産業・ビジネス、または、これらによる課題解決を考える事を合宿形式で実施する。また、ワークショップで取り組む課題を探すために前日の午後にエクスカージョンを実施する。博士後期課程の登録学生のほか、海外の学生、企業の若手研究者も参画し、それぞれグループを編成し、さまざまな立場から分野を超えて議論し、現代社会が抱える課題に対し、大量の情報の中から社会が向かう方向を見出し、自分の研究知識を使い、未来社会におけるサービスまでを考えた社会実装の新しい産業・ビジネスを提案する。企業研究者、技術者を中心として、物質・材料研究機構（NIMS）および産業技術総合研究所（産総研）の研究者、プログラム担当教員も参加し、各提案について様々な視点から討論を行う。優秀な提案や優れたプレゼンテーションには賞を授与する。

### （3）上記（1）、（2）の参加者

2泊（前半）	TAC-MI 学生（D1）18名、（D2）20名、（D3）6名、海外学生10名	
12/4～6	教職員18名、企業関係者18名、海外教員10名	計100名
2泊（後半）	TAC-MI 学生（D1）18名、（D2）1名、（D3）1名、海外学生10名	
12/7～8	教職員20名（海外教員含む）	計50名

## 2. 履行期間

令和5年12月4日（月）～12月8日（金）

## 3. 仕様

以下の条件を満たす施設、設備を備えること。

### 3-1. 立地

- (1) 本学学生、本学教職員が参加しやすいよう、東京工業大学大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）及びすずかけ台キャンパス（神奈川県横浜市緑区長津田町4259）から公共交通機関で2時間以内の距離にあること。
- (2) 宿泊施設、食事会場、大会議室及び小会議室について、参加者は都度コミュニケーションをとりながら各施設等を行き来するため、円滑な連絡調整を行えるよう、これら施設等は受注者が管理する同一の立地もしくは徒歩20分圏内にあること。

### 3-2. 宿泊施設 施設数、利用（宿泊）人数は別紙のとおり

- (1) 4泊5日（学生以外の参加者については、それ以下の宿泊の場合もある。）の日程で合宿形式により開催するため、最大100名程度が宿泊可能な施設が整っていること。
- (2) 宿泊人数は予定者数であり、今後、参加申込状況等により、宿泊人数を変更する場合がある。その場合可能な範囲で迅速に対応すること。
- (3) 宿泊者全員、シングルルームまたはツインルームのシングルユースとすること。
- (4) 各部屋には、就寝用の設備（ベット・布団）のほかに、インターネット接続、テレビ、机、金庫、シャンプー、ボディソープ、バスタオル、ハンドタオル、歯ブラシ、湯沸かし用ポットを用意すること。
- (5) 履行期間中は、本学からの申し出がない限り部屋の変更をしないこと。宿泊者が自ら宿泊室の施設ができるように、鍵を貸与すること。

### 3-3. 食事会場 1室 使用数は別紙のとおり

- (1) 昼食については、参加者全員が着席することのできる座席数を確保すること。食事の形式（お弁当、ホテルメイドの料理、バイキング等）は問わないが、必要に応じてアレルギー疾患、ビーガン、ハラール等のメニュー変更に対応できること。昼食の食事代は一人あたり2,500円（サービス料・税込で、2,500円相当の内容とする）以下。
- (2) 朝食については、宿泊者全員が着席することのできる座席数を確保すること。食事の形式（着席、バイキング等）は問わないが、必要に応じてアレルギー疾患、ビーガン、ハラール等のメニュー変更に対応できること。
- (3) 12月4日の夕食（ウェルカムディナー）、5日の夕食（座学協創交流会）については、立食パーティー形式。会場には音響設備を用意すること。必要に応じてアレルギー

ギー疾患、ビーガン、ハラール等のメニュー変更に対応できること。夕食の食事代は、一人あたり7,500円（ドリンク別。サービス料・税込で、7,500円相当の内容とする）以下。

- (4) 12月6日、7日の夕食については、ホテルメイドの料理もしくはレストランビュッフェ。宿泊者全員が着席することのできる座席数を確保すること。食事の形式（着席、バイキング等）は問わないが、必要に応じてアレルギー疾患、ビーガン、ハラール等のメニュー変更に対応できること。夕食の食事代は一人あたり3,500円（サービス料・税込で、3,500円相当の内容とする）以下。
- (5) 朝食時間は朝7時以降、昼食時間は12時～13時の1時間程度、夕食時間は18時30分～20時の間の1時間～1時間30分程度とする。
- (6) 各日参加人数分のコーヒーサービスを用意すること。

#### **3-4. 大会議室（250㎡以上）（メイン会場）1室** 使用数、利用日時は別紙のとおり

- (1) 参加者全員によるオリエンテーション、発表、グループワーク等を行うためのスペースを持つ大会議室1室（100名程度収容：250㎡以上）があること。
- (2) 座席レイアウトは12月4日～6日はスクール型。12月7日～8日は島型（8名）。
- (3) 当該の部屋において、プロジェクター、スクリーン、音響設備、ホワイトボードを準備すること。ハイブリッド配信（Zoom）を行える環境が整っていること。ハイブリッド配信用音響設備がない場合、持ち込みのハイブリッド配信用音響システムを利用することができること。
- (4) 参加者が電源を使用できるよう、テーブルタップを配置すること。
- (5) 有線LANおよび無線LANにより、インターネットが使用できる設備があること。メイン会場では無線LANで100名が同時に接続することができる環境があること。
- (6) スクリーンは会場の後方からも見やすいよう、照射5000lm以上のプロジェクターを準備すること。

#### **3-5. 中会議室（100㎡以上）2室 もしくは大会議室（200㎡以上）1室**

（フリースペース・面談会場） 使用数、利用日時は別紙のとおり

- (1) 12月4日～5日の17:00～18:30および12月6日の13:00～15:00には、2～4名での面談を行うことのできるテーブルと椅子が20卓以上あるスペースを確保する。面談時間以外も参加者が自由に出入りし、利用できるフリースペースとする。メイン会場のすぐ近くにあること。メイン会場前に面談を行うのに十分な座席数のあるスペース（ホワイエなど）がある場合は、その場所をフリースペースとして利用する。
- (3) 無線LANにより、インターネットが使用できる設備があること。
- (4) 参加者が電源を使用できるよう、テーブルタップを配置すること。

### 3-6. 小会議室（25～100㎡）（控室）1～2室 使用数、利用日時は別紙のとおり

- (1) 講義の準備を行うためのスペースを持つ(教職員10名以上収容:25～100㎡)小会議室2室があること。12月4日～6日は1室、12月7日～8日は2室利用。
- (2) 収容人数分の可動式の机及び椅子が備えてあること。
- (3) 本学機材（ノートPC等）を持ち込むため、各部屋とも施錠が可能なこと。
- (4) 有線LANまたは無線LANにより、インターネットが使用できる設備があること。無線LANがない場合には、ハブ及びLANケーブルを用意すること。

### 3-7. 国際フォーラムの運営支援業務

- (1) 国際フォーラム会期中（12月4日～6日）、国内外からの参加者の受付業務及び会場設営等の補助、その他関連業務のため人員1名を確保すること。ただし、会場設営などを会場側が行う場合や常時対応可能なスタッフが会場に常駐している場合は、運営支援業務を行うスタッフとみなす。上述の業務を行う人員の手配に別途料金がかかる場合は、税込み金額を提示すること。

### 3-8. エクスカーションの企画運営

- (1) 12月6日の午後に未来社会サービス創出ワークショップの趣旨に沿った内容により、別途暫定スケジュールに従い、物質科学・情報科学に関連する最新の研究、技術開発を行う企業、大学、研究施設もしくは海外招聘者に日本文化を伝えるための施設等を見学するエクスカーションを企画すること。
- (2) エクスカーションの参加人数は35名（学生30名、教職員5名程度）を予定。
- (3) 施設見学の移動手段として、必要に応じて大型バスなどを手配すること。大型バスの手配が必要な場合は、税込み時間単価及び税込み金額を提示すること。ただし、エクスカーションはその趣旨が教育研究のためであるので、観光目的の添乗員は不要。

### 3-9. その他

- (1) 会場、会場設備等については、当日のプログラムの内容により利用時間や利用数に変更になる可能性がある。
- (2) キャンセル料が発生する時期、条件を提示すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項は、本学担当者の指示によること。
- (4) 上記(3)の指示によりがたい場合は、発注者・受注者で双方協議のうえこれを決定する。

宿泊	利用人数				
	4日	5日	6日	7日	8日
1室1名	100	100	50	50	
利用人数合計	100	100	50	50	0

飲食など	利用人数				
	4日	5日	6日	7日	8日
朝食（宿泊者のみ）		100	100	50	50
昼食	100	100	100	56	56
夕食 ビュッフェ料理（立食パーティー）	100	100			
夕食（宿泊者のみ）			50	50	
コーヒーサービス	100	100	100	56	56

会議室	利用室数				
	4日	5日	6日	7日	8日
メイン会場（9：00～18：00）	1				
メイン会場（8：30～18：00）		1			
メイン会場（8：30～17：00）			1		
メイン会場（9：00～18：30）				1	
メイン会場（9：00～17：00）					1
昼食会場（12：00～13：00）	1	1	1		
夕食会場（18：30～20：30）	1	1			
夕食会場（18：30～19：30）			1	1	
フリースペース・面談会場A（9：00～18：30）	1	1			
フリースペース・面談会場A（9：00～17：00）			1		
面談会場B（17：00～18：30）※	1	1			
小会議室A（8：00～19：00）	1	1	1	1	
小会議室A（8：00～18：00）					1
小会議室B（8：00～19：00）				1	
小会議室B（8：00～18：00）					1

※ フリースペース・面談会場Aの面談テーブルが20卓以上ある場合は面談会場Bは不要。

会議室オプション	利用数				
	4日	5日	6日	7日	8日
基本音響照明（大会議室）マイク4本	1	1	1	1	1
基本音響照明（夕食会場）マイク2本	1	1			
プロジェクター・スクリーンセット（大会議室）	1	1	1	1	1
スクリーン（小会議室A）					1
ホワイトボード（大会議室）				6	6
有線LAN（大会議室）	1	1	1	1	1
無線wifi	1	1	1	1	1

エクスカーションのバス手配	利用数				
	4日	5日	6日	7日	8日
大型バス手配（13：00～18：30）			1		

※エクスカーションの見学先が徒歩圏内の場合は、大型バスの手配は不要。

その他	利用数				
	4日	5日	6日	7日	8日
運営支援業務（9：00～18：00）	1	1	1		